

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称	虫コロリアース (エアゾール)
整理番号	AK0963
会社名	アース製薬株式会社
住所	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目 12 番地 1
担当部門	開発部
電話番号	03-5207-7464
FAX番号	03-5207-7485
作成／改訂年月日	2009 年 04 月 01 日 作成 2015 年 06 月 01 日 最終改訂

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性	使用方法、使用量を守れば有害性は極めて低い。
分類の名称	引火性液体（殺虫原液）
特定の危険有害性	噴射薬剤を吸入すれば、咳き込むことがある。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物（不快害虫用エアゾール殺虫剤）
成分及び含有量	〔殺虫成分〕 ピレトリン d-T80-ブラレトリン エトフェンプロックス ケロシン 〔噴射剤〕 LP ガス DME
危険有害成分	ピレスロイド系／ピレスロイド様殺虫剤（ピレトリン／d-T80-ブラレトリン／エトフェンプロックス）配合品

4. 応急措置

吸入した場合	噴射薬剤を吸入すると人によっては激しく咳き込むことがある。この咳き込みは一過性であるが、症状が続くときや万一身体に異常が起こったときの応急処置としては、直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、体を毛布で覆い、保温して安静に保つこと。呼吸が弱くなっているときは、衣類を弛め、呼吸気道を確保する。嘔吐がある場合は、頭を横向きにし、口からは何も与えてはならない。吐かせようとしてはいけない。そして、本品がピレスロイド系殺虫剤とピレスロイド様殺虫剤の混合剤であることを医師に告げて、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	実使用上特に問題はないが、アレルギー体質等の人への応急処置としては、汚染された衣類や靴などは速やかに脱ぎ捨てる。薬剤が付着した場合は、水又は微温湯で流しながら石鹸を使ってよく落とすこと。外観に変化が見られたり、痛み等の異変がある場合は、直ちに皮膚科医の診断を受けること。

眼に入った場合	噴射処理時に眼に入れば、軽度の刺激性を有することがある。応急処置として清浄な水で眼を洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。洗眼の際、瞼を指で開いて、眼球、瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗浄すること。痛み等の異変がある場合は、直ちに眼科医の診断を受けること。
---------	--

5. 火災時の措置

消火剤 特定の危険有害性	泡（初期火災）、二酸化炭素、粉末 エアゾール製剤であり、着火後爆発の危険性があるため、直ちに避難する。
-----------------	--

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 環境に対する注意事項 除去方法	特になし 特になし 特になし
----------------------------------	----------------------

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	○定められた使用方法を守ってください。 ・不快害虫に直接噴射するか、発生しやすい場所やその周辺に噴射してください。 ・木材害虫には直接噴射するか、木材表面に噴射してください。
注意事項	○使用前に必ず製品表示を読み、十分理解した上で使用してください。 ○皮膚、飲食物、食器、子供のおもちゃ、観賞魚、小鳥などのペット類、飼料、観賞植物にかからないようにしてください。 ○植物の中には直接かかると薬害がでる場合があります。 ○家具の塗装面や合成樹脂の中には薬剤に侵されやすいものがあるので、噴射の際には目立たない場所に噴射して、影響がないことを確かめてから使用してください。 ○噴射中は喫煙、飲食等はしないでください。 ○2分10秒以上連続噴射しないでください。 ○換気してください。 ○一般的注意（高圧ガス保安法） 高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。 ①炎や火気の近くで使用しないこと。 ②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。 ③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所やストーブ・ファンヒーターの近くなど温度が40度以上になるところに置かないこと。 ④火の中に入れないこと。 ⑤使い切って捨てること。
安全取扱い注意事項	○アレルギーやかぶれなどを起こしやすい体質の人、喘息の症状のある人は、薬剤を吸い込んだり、触れたりしないようにしてください。 ○人体に向かって噴射しないでください。また、噴射気体を吸入しないでください。

○薬剤が皮膚についたときは、石けんを用いてよく洗ってください。また、目に入ったときは、直ちに水で洗い流してください。

○万一身体に異常が起きた場合は、直ちに本品がピレスロイド系殺虫剤（ピレトリン、d-T80-プラレトリン）とピレスロイド様殺虫剤（エトフェンプロックス）の混合剤であることを医師に告げて、診療を受けてください。

保管

技術的対策
適切な保管条件

特になし

○直射日光や火気を避け、子供の手の届かない涼しいところに保管してください。

混触禁止物質
安全な容器包装材料

○缶のさびを防ぐため、水回りや湿気の多い場所に置かないでください。

特になし

情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

保護具

特になし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

エアゾール剤

色

原液は無色から淡黄色の澄明もしくはやや濁りのある液体

臭い

わずかに特異な芳香を有する。

pH

該当しない

密度（比重）

0.756～0.758（20℃）（殺虫原液）

溶媒に対する溶解性

情報なし

物理学的状態が変化する

情報なし

特定の温度／温度範囲

引火点：79.8℃

10. 安定性及び反応性

安定性

情報なし

反応性

反応性なし

危険有害な分解生成物

情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

急性経口毒性（LD₅₀ 値）

ラット 雌／雄 5g/kg以上（原液として原体からの推定値）

急性経皮毒性（LD₅₀ 値：原液）

ラット 雌／雄 5g/kg以上（原液として原体からの推定値）

12. 環境影響情報

生態毒性

情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

捨てるときは、風通しがよく、火気のない屋外で、風下に向かって人にかからないように噴射ボタンを押し、噴射音が消えるまでガスを抜いて、各自治体の定める方法に従って廃棄してください。その際、ノズルを倒して、噴射ボタンを押したまま、スプレー全面部の溝に側面からつまようじ等を差し込むと、噴射ボタンがロックされ最後までガスを抜くことができます。

汚染容器・包装

空容器やフィルム等は、各自治体で定められた廃棄方法に準じて処理してください。

1 4. 輸送上の注意

国連番号

1950、クラス 2.1 (エアゾール)

輸送の特定の安全対策
及び条件

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。
転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

消防法

危険物 第四類 第三石油類 非水溶性

PRTR 法

エトフェンプロックス：第 1 種指定化学物質、政令番号 64 号

ただし、本品は一般消費者生活用製品であり、PRTR 法の対象製品には該当しません。

1 6. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。